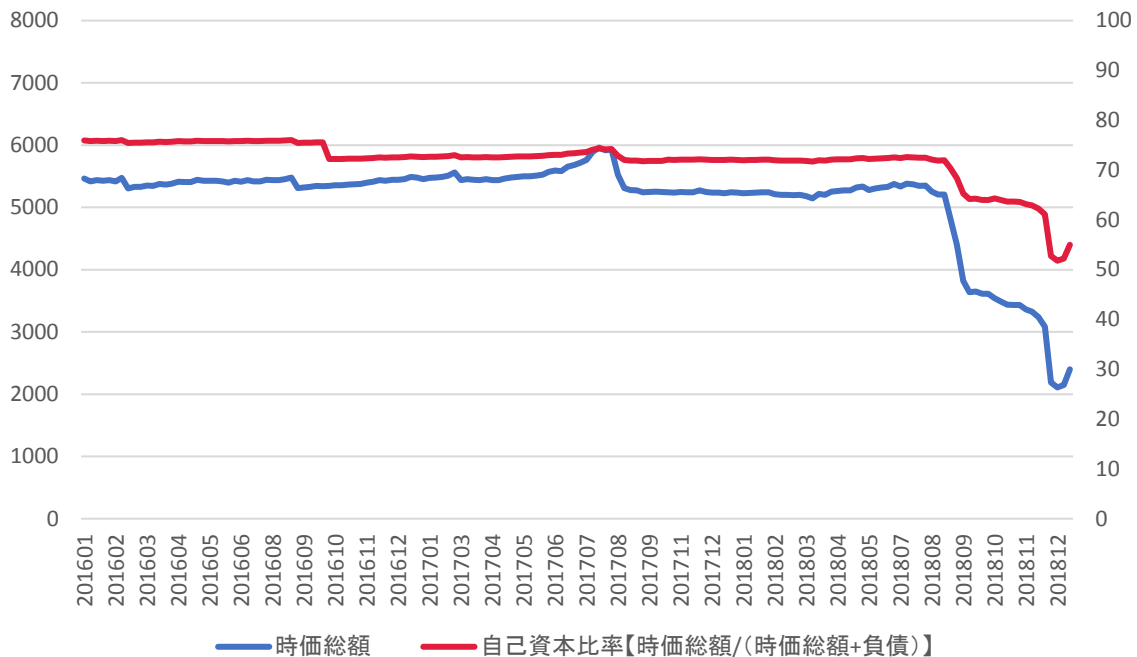


(株) シベール 倒産日 2019年1月17日  
 [証券コード: 2228 ジャスダック上場 日経36業種: 食品]



【左軸:時価総額 (百万円)、右軸:自己資本比率 (%)】

シベールは山形県、宮城県が地盤のラスク等菓子やパンを製造販売する洋菓子メーカーである。

バブル崩壊後、お手ごろ価格でボリューム感のあるラスクが「ママ友への手土産」としてブームになり、2005年にはジャスダック上場を果たした。ただ、その後は競合が相次ぐなかで次の一手を打ち出せず、近年は販売政策の混乱も拍車をかけた。売上高は08年8月期の44億円をピークに、18年8月期は26億円まで落ち込み、2018年8月期まで3期連続で最終赤字だった。

18年9月に販促策を一新、月次売上高が16カ月ぶりにプラスに転じるなど回復の兆しもあったが、すでに資金繰りは逼迫。今月18日に支払期限が到来する債務返済の手当がつかず、2019年1月17日に山形地裁へ民事再生法の適用を申請することになった。(注1)

◆過去3カ年主要財務項目の推移

	2016年8月末	2017年8月末	2018年8月末
時価総額	5,481	5,310	4,817
負債	2,060	2,033	1,962
営業利益	-84	-120	-178
経常利益	-85	-117	-163
当期純利益	-82	-389	-301

(単位:百万円 金融工学研究所調べ)

注1:日経電子版 2019年1月18日付を元に金融工学研究所が記載



【左軸:時価総額（百万円）】

上場企業に対し、株価の変動と財務指標で信用力（DCRI）を測定する弊社製品 DEFENSE(ver5)では、2016年初めの時点で当該企業を bb+格で評価していた。2017年8月期以降は2期連続での営業損失の計上、減損損失の計上や繰延税金資産の取り崩し等の状況から、継続企業の前提に関する重要事象等の存在が明記されていた。直近の2018年8月期決算では店舗販売および通信販売の苦戦から売上がさらに減少、3期連続での営業損失となり、2018年10月には bb-格で評価。その後も2019年12月に19日連続安となるなど株価の低迷から、倒産1週間前時点では b 格で評価していた。また、日次評価でも、2019年1月16日の株価基準日での評価は b 格となっている。

◆倒産時点より遡った DEFENSE の主要項目

	104 週前	52 週前	26 週前	12 週前	4 週前
DCRI	11.006	12.059	12.105	13.053	13.926
DCR	bb	bb-	bb-	b+	b+
Status	Yellow-2	Red-1	Red-1	Red-1	Red-1
DCRI 業種平均	8.416	8.426	8.516	8.620	8.653
DCRI 業種中央値	8.514	8.556	8.610	8.681	8.694

DEFENSE の Status は 6 段階（※）で表現しており、その中で Red-1、Red-2 は相対的に信用力に問題のある企業に対するシグナルとなっている。

※Green-1、Green-2、Yellow-1、Yellow-2、Red-1、Red-2

「Default Event Study（デフォルトイベントスタディ）」のお問い合わせは、下記までご連絡をお願い致します。  
株式会社 金融工学研究所 Tel 03-6273-7743 FAX 03-6273-7973 URL <http://www.ftri.co.jp/>

「デフォルトイベントスタディ」の著作権は㈱金融工学研究所に帰属し、その目的を問わず、情報の全部または一部を無断で引用または複製することを禁じます。「デフォルトイベントスタディ」は、信頼に足ると判断したデータ、情報を掲載していますが、㈱金融工学研究所は、その正確性、確実性、有用性を保証するものではありません。また、㈱金融工学研究所は、「デフォルトイベントスタディ」の直接的および間接的を問わず、その使用により結果として生じた損害、損失、紛争に関して、一切補償致しません。